

人間としての在り方生き方の自覚を深める道徳教育

—道徳教育の全体計画作成の実際—

広島県立三原東高等学校

キーワード

連携体制づくりにいたるまでの過程

1 はじめに

三原東高校の紹介

1学年5クラス
生徒数563人
普通科自由選択制
進路状況

等



2 広島県で行っていること

(1) 学習指導要領の内容の整理

(2) 教育活動全体を通じた取組み

- 学習指導要領に記載されている道徳的な徳目に関する内容を7つのカテゴリーに整理

項目	1 生命	2 愛	3 日本人	4 自由	5 幸福	6 働く	7 人間
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生命倫理 ・脳死 ・クーロン(恋愛,家族愛,思想家の愛) ・命への畏敬 ・臓器移植と物心二元論等 ・宗教的なものの見方や考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛とは何か (恋愛,家族愛,思想家の愛) ・温かい人間愛 ・無償の愛 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人のの見方や考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由と何か ・相互の人権を尊重する方 ・精神風土 ・比較文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由と何か ・相互の文明と人権を尊重する生き方 ・精神風土 ・比較文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・進歩し続ける方 ・文明の発達は人間を幸福にしたか ・科学者の責任 	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な勤労観の育成 ・職業と余暇 ・ボランティア活動 ・国際貢献 ・福祉

3 新学習指導要領について

(1) 道徳教育の重

要性

①中学校段階

②高等学校段階

- 中学校の新学習指導要領では、内容項目が、23から24に増加
- 高等学校における全体計画の作成の必須化（中教審答申から）
 - ・全体計画を作成することが重要なのではなく、作成過程において、自校の課題や生徒の実態を把握することが重要である。

4 全体計画の実際【演習】

- 全体計画を作成する前に
- 全体計画作成の実際
- 全体計画の掲示
- 全体計画作成上の気付き

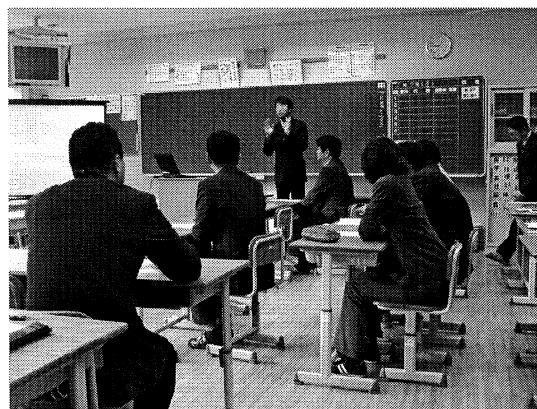
5 道徳教育推進のポイント

(1) 研修会

①中学校における道徳教育

②道徳の時間の授業参観等

- 中学校の研究主任による説明（平成19年5月）
 - ・ 文部科学省の研究を委嘱された1年目に、連携している中学校の研究主任を講師として招聘し、中学校における取組みについて説明を受けた。
- 授業参観及び模擬授業
 - ・ 連携している中学校の道徳の時間の授業参観したり、近隣の小学校の先生による模擬授業を体験したりした。



← 模擬授業の様子

(2) 道徳教育で何を取り組むか。

①課題の絞り込み

②重点項目の設定

6 おわりに

- 中学校との連携の中で、中学校における道徳教育について、年間指導計画、授業参観、合同研修会などを通じて理解する。その上で、高等学校の道徳教育で何を取り組んでいくのか、7つのカテゴリーの中で何を中心に据えて全体計画を作っていくのか、検討する。
- 重点的に取り組んでいく内容が決めた後、「手段」を検討していく。授業を通じて、学校行事を通じて、さまざまな教育活動を通して、どういう生徒を育成したいのかを検討していくことが大切である。
 - ・ 中学校までの道徳教育がどのようなものか知る。
 - ・ 自校の課題が何か、生徒の実態を分析する。
 - ・ 高校でどのようなことができるのか、全体計画を作成する。
 - ・ 作成する際に、校務分掌や学年、教科等など様々なところで議論を通して課題を整理する。
 - ・ 全員で取り組む。